

Peace!



令和7年度

Vol. 91



猿岩 (壱岐市)

Iki / Tsushima



生月大橋 (平戸市)

Hirado / Matsuura / Hokusyou



ハマナのライオン岩 (新上五島町)

Goto



ハウステンボスタ景 (佐世保市)

Sasebo



竹灯籠まつり (川棚町)

Isahaya / Omura / Touhi



浦上天主堂 (長崎市)

Nagasaki



イルカウォッチング (南島原市)

Shimabara

- 令和7年度 県高P連 活動報告
- 「高等学校・特別支援学校教育の充実に向けた教育懇談会」報告
- 地区別研修会 報告
- 全高P連・九高P連 表彰報告
- 広報紙コンクール 審査結果報告

【表紙写真】片島公園の探信儀領収試験場跡 (川棚町)

『家族で過ごせることの大切さ』

長崎県公立高等学校PTA連合会 会長 野口 富士男
(長崎工業高等学校教育友会 前会長)



九高P連沖繩大会：第2分科会にて司会を務める野口会長

私たち保護者は、日々の忙しさの中で子育てをしています。仕事、家事、役割に追われ、「また今日もゆっくり話せなかったな」と思いながら一日を終えることも少なくありません。そんな中、ある記事で目にした数字に、私はしばらく動けなくなりました。

親と子が一緒に過ごせる時間は、母親で約7年半、父親では約3年半。赤ちゃんの頃から数えて、です。長いようで、あまりにも短い。時計は止まってくれないのだと、改めて思い知らされました。振り返ると、子どもが小さかった頃は、「早く大きくなってくれたら」と思っていた気がします。ところが今は、「もう少しこの時間が続けばいいのに」と願っている自分がいます。親というのは、勝手なものです。現実の親子の会話は、決して美しいものばかりではありません。「ご飯できたよ」「早く寝なさい」「スマホばかり見てない？」返ってくる言葉は短く、時には無視されることもあります。それでも、同じ屋根の下で、同じ時間を共有できている今は、後から思えば奇跡のような時間なのかもしれません。家族で過ごす時間は、特別な思い出である必要はありません。一緒にテレビを見たこと、車の中で交わした沈黙、食卓での何気ない一言。それらは記憶の表舞台には残らなくても、心の奥に静かに積み重なっていきます。そしていつか、人生につまずいたとき、「帰れる場所があった」という感覚として、子どもを支えてくれるのだと思います。

子どもは、必ず私たちの手を離れていきます。それは成長であり、誇りでもあります。しかし同時に、親として「もう一度あの時間に戻れたら」と思う日が来ることも、きっと避けられません。だからこそ今、完璧な親でなくても、不器用でも構いません。今日の「おかえり」、今日の「おやすみ」を、大切にしていきたいと思います。

この何気ない日常が、いつか振り返ったとき、胸の奥をそっと温めてくれる記憶になりますように。

そしてその記憶が、子どもたちが自分の人生を歩いていくときの、見えない支えになることを、心から願っています。

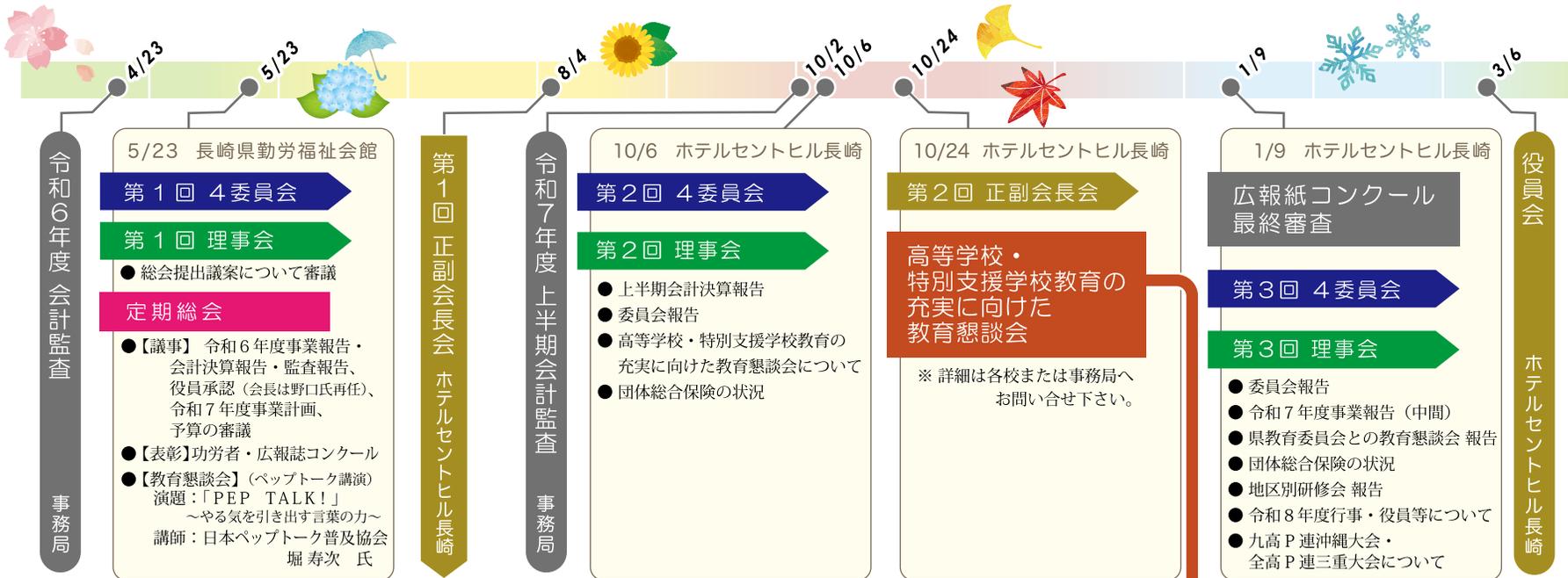


フジオパン、美味しく
焼きました!



令和7年度 活動報告

1年間の県高P連の活動について、概要をまとめました。



4委員会の協議事項の報告

総務委員会

- 九高P連委員会報告（各県の状況について情報共有）
- P T A 活動の取組について（教育懇談会報告、今後の要望や課題等）
- 長崎県版「会長ハンドブック」作成
- 1人1台タブレット端末の今後の方向性について

健全育成委員会

- 九高P連委員会報告（SNSアンケート分析）
- 親子のコミュニケーションについて
- 薬物乱用防止対策について
- SNS等ネット対策について：学校と協力しながら取り組む

進路対策委員会

- 九高P連委員会報告（各県の取組についての情報交換）
- 親子のコミュニケーションについて
- 進路指導（進学・就職）について
- 進路情報の提供について

調査広報委員会

- 九高P連委員会報告（各県の取組についての情報交換）
- 広報紙コンクールの審査を終えて
- 県高P連会報の在り方（会報のサイズ、レイアウト、配布方法など）
- 九高P連へ審査基準の見直しについて提案

県教育委員会と県高P連の意見交換

高等学校・特別支援学校教育の充実に向けた教育懇談会

テーマ「教育県長崎」づくりを目指して ～たくましく生きる「郷土長崎県の子ども」を育てるために～

1. 教育活動への支援 《要望と進捗状況の確認》

《要望》

(1) 学校施設・設備の改善

- 県費予算の確保：特に、小規模校の施設整備費・需用費の増額。
- パソコンの更新：公務用PC・パソコン室のPC老朽化により教育活動に支障をきたしている。
- 空調設備の整備：体育館・特別教室への空調設置。特に「指定避難所校」は市町との連携を強化し優先的に。

(2) ICT教育・1人1台タブレット端末の整備

- 遠隔教育センター（DECTT）の活用：小規模校への支援員配置、地歴公民科目の配信。
- タブレット端末の修理件数と保護者負担：昨年度の修理件数と費用、保護者負担の主な事例。
- タブレット端末の更新方針：貸与/個人購入方式、機種指定、金額、助成など方針の明示。

(3) 特別支援学校の生徒や家庭への支援

- 修学旅行に係る就学奨励費の限度額の増額及び県費による拡充。
- 知的障害特別支援学校高等部等における給食実施に向けた検討。
- 代替講師の確保と正規教職員及び学校が要望する男女比や専門教科を踏まえた適切な教員配置



(4) 継続要望の進捗状況

- ① Wi-Fi アクセスポイント設置（体育館、特別教室、小規模校への設置継続）
- ② スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置増
- ③ キャリアサポートスタッフの配置（特別支援学校への再配置を含む）
- ④ 特別支援学校の設置基準等に基づく教室不足の解消
- ⑤ 特別支援学校の医療的ケア看護職員及びスクールバス等介助員の増員
- ⑥ ヤングケアラー支援の充実：早期発見、相談窓口の周知など

2. 今日の課題 《魅力ある県立高等学校の未来像に向けて》

◎ アンケートから見た現状と課題

- ① 生徒減少と定員確保（魅力ある高等学校の再編）
- ② 公立高等学校入学者選抜の検証（早期化による国公立大学受験・中学生への影響）
- ③ 私立高等学校授業料無償の影響（私学学費負担減や公私間の通学格差）
- ④ 通学手段の課題（バス路線再編、通学費高騰への対応策）
- ⑤ 教職の魅力化（学校業務改革と改善、教員の確保）



◎ 今後の方向性

- 高等学校再編の方向性（①、②、③）
- 通学手段の改善：スクールバスの連携、通学費補助の拡大（④）
- 働き方改革の進捗状況（⑤）

《会を終えて》

アンケートをもとにした要望については、厳しい県財政状況の中ではありますが、前向きなご回答をいただくことができました。

また、今日の課題についても、現状や課題、今後の方向性について意見交換を行いました。今回の懇談を通して、県教育委員会と高P連が課題を共有し、協力・連携しながら、魅力ある学校づくりと生徒育成に取り組んでいくことを確認することができました。

今後も、会員の皆様の声を大切にしながら、学校や関係機関と連携し、子どもたちの学習環境や生活環境、教育設備の充実に向けて取り組んでまいります。引き続き、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



学校指定型ふるさと納税制度

「ながさきの学校 応援寄附金」スタート!!

ふるさと納税制度を活用し、県立学校（中学校・高等学校・特別支援学校）全73校からあなたが指定した学校を応援することができます。

あなたの母校へ、頑張っている学校へ。あなたの想いをカタチにしてみませんか？

詳細情報は「ながさきの学校応援寄附金」で検索
または右記のQRコードからご覧下さい→

ながさきの学校応援寄附金

検索



令和7年度

地区別研修会

県内9会場にて実施された概要をお知らせします。



長崎 地区

参加 38名

2025年11月8日(土) 長崎北高校

「持続可能なPTA活動の在り方」

【研究協議(ワールドカフェ)】

4名の9グループで、途中メンバーを変えながら意見を出し合った。今後の活動のヒントを得る学びの機会にもなった。



佐世保 地区

参加 53名

2025年10月25日(土) 佐世保市労働福祉センター

「高度情報化社会を生き抜く力」

【講演】「賢い消費者」

～トラブルにあわないために～

長崎県消費生活センター消費者教育相談員 尾下直士氏

【研究協議】

テーマについてのグループ協議



諫早・大村・東彼 地区

参加 89名

2025年11月22日(土) 大村市中地区公民館

「親が笑顔でいることが、子どもの未来を支える」

【講演】「親が健康でいることが、最大の“我が子孝行”」

リハビリテーションあいのわ代表取締役
理学療法士 坂枝 真一氏

【グループディスカッション】

「子どもの自立に向けて、学校・家庭・地域でやっていること、やれること」



島原 地区

参加 134名

2025年11月22日(土) ホテルシーサイド島原

「島原(半島)の子どもは島原(半島)で育てる」

【講演】「限られた3年間を親子でどう向き合うか」

長崎県メディア安全指導員 加納 文氏

【パネルディスカッション】

講演を受け、3名の保護者代表と加納氏で大会テーマについてパネルディスカッション



平戸・松浦・北松 地区

参加 42名

2025年10月18日(土) 田平町中央公民館

「大人の学び場」

～未来社会を生きる子どもたちのために～

【講演①】「現代の若者の育成について」

～海上自衛隊の今昔物語～

海上自衛隊 佐世保地方総監部 広報推進室長 中村 祐一氏

【講演②】

「国際化って何?～海外から見た日本の姿～」

黄 文裕氏、住田 弥香氏



吉岐 地区

吉崎市PTA研修会

参加 307名(うち高校51名)

2026年1月31日(土) 吉岐の島ホール

「共に学ぶ」～子供・学校・家庭・地域との繋がり～

【アトラクション】

吉岐商業 吉州荒海太鼓部・吹奏楽部

【講演】「子供のやる気を引き出すペップトーク」

共に学ぶ ～子供・学校・家庭・地域との繋がり～

日本ペップトーク普及協会 網脇 由美氏



上五島 地区

参加 45名

2025年11月22日(土) 新上五島町石油備蓄記念会館

「子どもたちと一緒に考えよう 新上五島町の未来
～“探究”で地域をもっと豊かに～」

【講演】「高校生×保護者で育む地域探究①」

ふるさと魅力化財団教育事業部リーダー 宮野 準也氏
新上五島町地域おこし協力隊 岸川 桃子氏

【ワークショップ】「高校生×保護者で育む地域探究②」



下五島 地区

参加 73名

2025年11月15日(土) 五島高校

「つながろう、ひろげよう、みんなのウェルビーイング」

【講演】「えっ、なんで五島に日本語学校?」

～実は一大若者人財バンク～

九州総合学院五島日本語学校 校長 山上 福範氏

【研修会:ながさきファミリープログラム】

「思春期の心と体の発達について、
上手な関わり方について」

進行:五島市内登録ファシリテーター



対馬 地区

幼小中高合同PTA研修大会

参加 204名(うち高校34名)

2025年11月8日(土) 対馬市公会堂

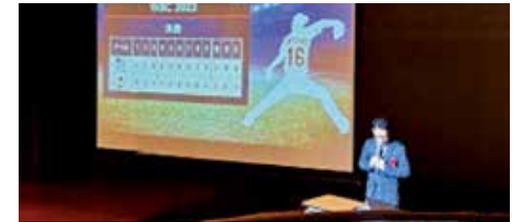
「教育環境の充実を求めて」

～連携・協働して目に見える改革を～

【講演】「ペップトーク」

～やる気を引き出す言葉の力～

日本ペップトーク普及協会 堀 寿次氏



長崎県教育庁 生涯学習課より

「15年後の世の中」

最近、15年後の世の中について考える機会が増えました。

2040年には長崎県全体の人口は現在の約8割、市や町によっては6割程度にまで減少すると予測されています。人口が減れば、当然ながら人口密度も下がります。労働力不足を補うためにロボットやAIの活用が進み、今よりさらに外国人労働者に頼る社会になっているのかもしれませんが、「現代は予測困難で、不確実、複雑で、曖昧な時代」といわれます。この場合の「現代」は概ね2010年代後半以降2030年くらいまでを指すようですから、その先の15年後、20年後を想像しようとしても、なかなか簡単ではありません。

「不惑」という言葉があります。「ものの考え方などに迷いのないこと」「40歳のこと」をさす言葉です。20代の頃の私は、40歳には迷いのない揺るぎない大人になるのだらうと思っていました。けれども実際には、迷い惑うことばかりです。人生経験を重ねて多少は賢くなったかもしれませんが、これまでも社会の変化の荒波に

もまれ続け、これからも翻弄されるのだと思うと少し途方に暮れます。

それでも、だからこそ、若い世代にはできる限り良い社会を引き渡したいと思います。

今の高校生は15年後には30歳代となり、社会の中核を担う存在になります。そのとき、少しでも良い社会であるように、今大人である私たちが迷いながらも努力しなければならないのだとも思います。

より良い社会を創るために今何が必要か。今の高校生に何を語り何を教えるべきなのか。職業も年齢も越えて集まった大人たちがそのことについて真剣に考え、議論し、行動する。

15年後、20年後の世の中を想像するとき、学校とは異なる「大人の学びの場」であるPTAのそのような本来的価値が今まさに高まりつつあるのではないかと思います。



全国高等学校PTA連合会大会 三重大会
2025.8.21-22 津市産業・スポーツセンター（三重県津市）

九州地区高等学校PTA連合会大会 沖縄大会
2025.6.20 沖縄コンベンションセンター（沖縄県宜野湾市）

団体表彰

■ 五島高等学校PTA 「子どもたちのためにできることから」

本校のPTA活動は4つの委員会で構成されています。総務委員会では、文化祭で食物バザーとリサイクルバザーを行っています。進路対策委員会では、受験を控える3年生と校内マラソン大会での持久走を頑張る1・2年生へ向けての生徒支援活動（飲料の提供）として、文化祭でのバザーの収益を還元しています。調査広報委員会では、PTA広報誌「蓮風」の編集会議・発行を行い、活動の様子を発信しています。健全育成委員会では、伝統行事である福江みなとまつりに参加し、五高ねぶたとともに町を練り歩きます。



子どもたちは、卒業後はほとんどが島外へと出ていきますが、PTAの活動を通して、少しでも故郷のぬくもりに触れてもらえたらと思活動しています。今後も、家庭と学校が一丸となり、五島の子どもたちの優しく健やかな成長に寄与していけるよう邁進していきます。

（会長 杉秀宣）

■ 佐世保商業高等学校PTA 「無理なく、楽しく、つながる」

佐世保商業高校PTAは、他の学校様と何ら変わらない、ごく普通の活動を行っています。しかし、中には「学校を支える」という大切な役割と、保護者として子どもたちに寄り添う温かい思いがあります。行事のお手伝いや校内整備、学校行事のサポートなど、どれも気軽に参加できるものばかりです。忙しい保護者の皆様でも、できる時にできる形で参加できる柔らかな雰囲気づくりを目指しています。そして何より、活動の中で子どもたちの笑顔や成長を間近で感じられることが最大の魅力です。佐世保商業高校PTAは、「無理なく、楽しく、つながる」活動を目指し、これからは学校・地域・保護者が一体となり、子どもたちの輝く未来を応援していきます。



（会長 北川 梓）

団体表彰

■ ろう学校PTA 「魅力あふれるPTA活動を目指して」

本校は、聴覚に障害のある幼児児童生徒の特性や発達段階、教育的ニーズに応じて幼稚部から高等部まで系統的な教育を行っています。

PTA活動では、多くの保護者や職員が積極的に参加し、子供たちと共に様々な活動に取り組んでいます。また、子供たちがより良く生きるための支援を家庭と学校が連携して行えるよう、保護者懇話会や人権教育研修会、保護者進路研修会など、聴覚障害児の子育てや社会自立について考える機会を設定しています。

今年度は、保護者同士が互いにPTA活動への参加を呼びかけ、参加人数も徐々に増えてきました。その他にも、広報誌の発行、花苗移植活動、地域のクリーンアップ作戦、除草及び清掃作業、親子のつくり教室、茶話会と盛りだくさんの活動を計画し、充実した活動ができました。生徒数の減少により、PTAの運営も厳しい状況になってきていますが、これからも子供たちのために頑張っていきたいと思っています。



（会長 後藤 智徳）

■ 大村高等学校育友会 「最も身近な伴走者であるために」

大村高等学校育友会では、交通指導やマラソン大会での炊き出し、広報誌の発刊など、保護者が協力しながら子どもたちの学校生活をサポートしています。本年度はそれに加え、学校側の全面協力のもと、進路をテーマとした保護者向け講演会を開催しました。

子どもたちを取り巻く環境は、私たち保護者世代とは大きく変化しており、特に進学や進路選択に不安を感じる場面も少なくありません。講演会では多くの保護者にご参加いただき、好評を得ることができました。

育友会活動は子どもたちのためのものですが、同時に保護者自身の不安を共有し、支え合う場でもあります。保護者が子どもにとって最も身近な伴走者であり続けられるよう、今後も育友会活動に取り組んでまいります。



（会長 高瀬 英三）

個人表彰

- 島原高等学校PTA 金子 耕三
- 清峰高等学校PTA 川内野 公隆

個人表彰

- 鳴滝高等学校定時制夜間部PTA 山口 和美
- 平戸高等学校PTA 山口 庄重

長崎県公立高等学校PTA連合会 **広報紙コンクール 審査結果**

応募総数 23紙 2026.1.9 最終審査

最優秀賞
【長崎県教育委員会賞】

波佐見高等学校PTA 「山脈」

学校行事も含めたすべての記事がPTA目線で書かれており、PTA広報紙としての目的を十分に果たしていることが特に高く評価された。楽しく生き生きとしたPTA活動が紙面から伝わりメリハリのある文字や写真の使い方の工夫も好評であった。

優秀賞
【長崎県公立高等学校PTA連合会会長賞】

長崎工業高等学校定時制育友会 「長工定育友会だより」

育友会活動や会費の使途などわかりやすく伝えるとともに、保護者の実体験や学校行事を温かみのある写真と文章で紹介している。学校と家庭をつなぐ、まさに保護者が読みたくなる広報紙である。

優秀賞

- ろう学校PTA 「ながろうくん」
- 長崎工業高等学校育友会 「匠の風」
- 西陵高等学校PTA 「上野が丘陵（うえのがおか）」

保護者の連携と取組が伝わる広報紙となっており、紙面もカラフルで読みやすい。転入生の紹介など、ろう学校ならではの記事が印象的である。

PTA活動の内容がわかりやすく紹介されている。レイアウトも良く、手に取りやすい広報紙になっている。HPを活用した広報も評価できる。

フォントに工夫があり、インタビュー企画では目に留まる字体や表現が用いられている。生徒も保護者も楽しく読める広報紙となっている。

奨励賞

- 大村高等学校育友会 「五教（ごこう）」
- 対馬高等学校PTA 「白帆」

全4ページ。創立140周年式典など記念行事を詳報。特に体育祭は20年前、60年前の写真も紹介し、学校の歴史と広報担当の意欲や工夫が感じられた。

地域性のある内容で、特別企画などユニークな題材が良かった。PTA活動の紹介を増やすことで更に充実した広報紙になると期待される。

外部審査委員からのアドバイス

- ▶ 行事の紹介や活動報告にとどまらず、PTAがどのように関わっているかを出してもらいたい。
- ▶ アンケートの結果から見えること、わかることを出してもらおうと更に役立つものになる。
- ▶ 発行時期やタイミングに合わせた内容載せることも大切である。
- ▶ タイトルと見出しは違う。タイトルは小さくインパクトある見出しをつける。
- ▶ 主役は生徒であり会長・校長等の挨拶は短く

事務局だより

今年度も、定期総会、委員会3回、理事会3回を、いずれも予定どおり開催することができました。また、教育懇談会アンケートに寄せられた要望やテーマをもとに、県教育委員会との教育懇談会を開催し、意義ある会とすることができました。4つの委員会および理事会を通じていただいたご意見は、高P連活動の大きな原動力となっております。

県高P連は、単位PTA・学校・地域・県教育委員会をつなぐ架け橋、ならびにプラットフォームとしての役割を担い、今後も運営に努めてまいります。

引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

令和8年度 高P連関連の主な行事

- ・県高P連 定期総会（ホテルセントヒル長崎） 6月4日(木)
- ・九高P連 福岡大会（福岡市） 7/2(木)・3(金)
- ・全高P連 大分大会（大分市、別府市） 8/20(木)・21(金)

Don't miss it! >>>